

[001]九州大学生体防御医学研究所年報 : 1982-1985
年

<https://hdl.handle.net/2324/2186206>

出版情報 : 九州大学生体防御医学研究所年報. 1, pp.1-, 1986. Medical Institute of Bioregulation,
Kyushu University

バージョン :

権利関係 :

II 生体防御医学研究所主催セミナー

生体防御医学研究所主催セミナー

本研究所主催のセミナーを昭和60年度より開催している。昭和60年度は遺伝学部門がセミナー係を担当した。第1回より第24回までのセミナー講演者および演題は次の通りである。

第1回 昭和60年6月17日(月)

Prof. Raymond Kaempfer (Dept. of Molecular Virology, Habrew Univ., Israel)

“Translational Control of Eukaryotic Gene Expression –eIF-2 Gene Expression–”.

第2回 6月25日(火)

高橋慶吉助手 (生化学部門)

「SV40ウィルス初期遺伝子の転写調節に関して」

第3回 7月23日(火)

Prof. Peter T. Rowley (Dept. of Medicine, Pediatrics, Genetics and Microbiology, Univ. of Rochester, USA)

“Human Multipotent Hematopoietic Cell Line K562 as a Model for the Study of Differentiation”

第4回 7月30日(火)

工藤 明助手 (感染防御学部門)

「免疫グロブリン遺伝子の発現とその制御因子」

第5回 8月1日(木)

高橋 守信教授 (金沢大 がん研免疫生物部)

「補体遺伝子のクローニング」

第6回 8月22日(木)

Jean Marc Egly, Ph. D. (INSERM-U. 184 et CNRS-LGME, Institut de chimie Biologique, Faculté de Médecine, Strasbourg, France)

“Purification and Characterization of RNA polymerase B (II) Transcriptional Factors”

第7回 8月22日(木)

西村 泰治助手 (遺伝学部門)

「ヒト免疫応答の遺伝子支配-HLA-D領域の構造および機能-」

第8回 9月4日(水)

Prof. Noorbibi K. Day (Univ. of South Florida, USA)
“FeLV Induced Malignancies and Immunodeficiencies”

第9回 9月4日(水)

Prof. Robert A. Good (Dept. of Pediatrics, Univ. of South Florida, USA)
“Newer Immunodeficiency Diseases”

第10回 9月11日(水)

佐渡 敏彦先生 (放射線医学総合研究所生理病理研究部)
「骨髄移植の免疫学と骨髄キメラマウスのT細胞のMHC拘束性」

第11回 9月24日(火)

直良 博人教授 (Research School of Biological Science, The Australian National University, Australia)
「遺伝子の領域効果と Oncogene の活性化」

第12回 9月25日(水)

桂 義元教授 (京都大学結核胸部疾患研究所細菌血清学)
「T細胞系幹細胞の定量的解析」

第13回 10月15日(火)

大村 恒雄教授 (九州大学理学部)
「チトクローム P 450研究の現況」

第14回 10月22日(火)

奥田 篤行助教授 (ウィルス学部門)
「ラット 3 Y 1 「正常」線維芽細胞の増殖制御機構と SV40感染による攪乱」

第15回 11月5日(火)

Dr. Pierre Chambon (INSERM-U. 184 et CNRS-LGME, Institut de Chimie Biologique, Faculté de Médecine, Strasbourg, France)
“The SV40 Early Promoter, Anatomy and Function”

第16回 11月13日(水)

Dr. J. W. Bruening (Dept. of Immunohematology, Blood Bank, Univ. Hospital Leiden, Netherland)

“The Applications of the Automated Microscope”

第17回 11月14日(木)

Dr. Ronald N. Germain (Laboratory of Immunology, National Institute of Allergy and Infections Diseases, National Institute of Health, Bethesda, MD. 20205, U.S.A.)

“Molecular and Functional Aspects of MHC Class II Molecules”

第18回 11月20日(水)

中西 重忠教授 (京都大学免疫研究施設アレルギー部門)

「Substance P 前駆体遺伝子およびキニンノーゲン遺伝子の構造と調節」

第19回 11月28日(木)

谷口俊一郎助手 (細胞学部門)

「癌の悪性化に伴うアクチン発現変化」

第20回 昭和61年1月20日(月)

山本三毅夫助教授 (生化学部門)

「ラット腫瘍で特異的に転写される反復配列遺伝子」

第21回 1月28日(火)

西塚 泰美教授 (神戸大学医学部生化学)

「生体情報の受容と伝達」

第22回 2月12日(水)

川崎 富作先生 (日赤医療センター, 小児科部長)

「川崎病」

第23回 2月25日(火)

谷口 克 教授 (千葉大学医学部附属環境疫学研究施設 免疫研究部)

「免疫応答の制御— I - J paradox の謎解き」

第24回 3月1日(土)

近藤 宗平教授 (大阪大学医学部放射線基礎医学)

「突然変異とがん」